

## 2022 年度 第 4 回専門医制度委員会議事録

日時:2022 年 9 月 13 日(火) 20:00~21:00

場所:Zoom 使用

出席者:中村雅也(担当理事)、藤田順之(委員長)、明田浩司、高橋真治、竹下克志、名越慈人、渡辺雅彦、波呂浩孝(アドバイザー)(敬称略)

### ① サブスペシャルティ領域専門研修制度の進捗

8 月 30 日に専門医機構へ脊椎脊髄外科専門研修制度整備基準案およびカリキュラム案が提出された。今後専門医機構でそれらが検討され、正式な承認を得る流れとなる。

### ② 専門医試験未受験者の対応について

現在、専門医試験未受験の指導医は 224 名おり、その中には 3 名の評議員も含まれている。来年度の JSSR、NSJ、脊髄障害医学会での専門医試験を移行措置期間の最終年度とするにあたり、例年通り News Letter でアナウンスすることに加えて、未受験者各自にメールで受験の催促を行うこととする。機構認定の専門医は標榜できることにメリットがあり、今回の移行措置を利用しないと、改めて専門医をとるためには通常のカリキュラムを経なければならなくなることを文章に明記する。メールは分け隔てなく未受験者全員に送信する。メールの文章の草案を一度作成して、委員会の方で審議する。

### ③ JSSR マイページについて

基本領域である JOA と専門医機構の間でマイページをリンクできるように進められている段階であり、JSSR のマイページを大きく変えるのは時期尚早である。少なくともマイページ上で自分の専門医の情報が確認できるようにして、またカリキュラムなども掲載できるようにする。どのような形をとるかは、改めて他のサブスペシャルティ領域も参考にする。

### ④ 専門医更新について

脊椎脊髄外科専門医更新の条件として、専門医機構側から聴講の単位を課される可能性はあるが、基本領域が更新できていれば、それらの聴講は必要ないという考え方もあり、今後専門医機構側との調整が必要となる。また、専門医の資格について、初回に取得された専門医は 2023 年 9 月末で認定期間満了を迎える

ので、来年には更新しなければならない。少なくとも、指導医から移行措置で取得された専門医に対しては、整備基準で設けている更新の条件を課すわけではなく、E-learning 等を通して単位をとることを条件とする。本件は作業部会でも話し合う予定ではあるが、現段階のイメージとしては、20 分ぐらいの講義と設問の組み合わせを二つ作成し、それらを E-learning で受講ならびに受験できるようにする。

⑤ 専門医と指導医について

JSSR 指導医と機構認定の専門医は異なるものであり、今後はそれぞれを別個で取得して、更新する必要があることを委員の中で再確認された。